

だいしや

NO. 491
2019年10月16日
発 責 渡辺 一則
編 責 編集委員会

増税は当たり前？

～国鉄長期債務から考える～

10月1日から消費税が10%へ増税されました。軽減税率やらキャッシュレスが話題となり、キャッシュレス対応できない個人商店の多くが廃業を余儀なくされるなど、多くの問題がある中での増税です。

増税に対して、少子高齢化だから仕方ない、多額の借金が国にあるから仕方ないという声も聞こえますが、そもそも何故このような状況にになってしまったのかは安倍首相も説明していません。

増税の一つの例として、JR移行の基となった国鉄の借金問題から見ていきます。

国鉄の長期債務とは？（当時の会計監査院の報告から抜粋）

国鉄の経営は、1960年代まで、収支率は110%でした。つまり、100円投資して110円の利益を得る状況でした。

その後、急速な自動車社会となる中で収支率が低下していき、収支率は100%前後で推移していきます。そして、東海道新幹線の開業の1964年に赤字に転落し、山陽新幹線（1967～1970年）、青函トンネル、（1971年）東北・上越新幹線（1971年）、瀬戸大橋（1978年）が次々と着工され、赤字が巨額になっていき、最終的には国鉄の長期債務（赤字）は27.8兆円となりました。

赤字解消のためのJR移行？

長期債務の年間利子払いも1兆円を超える中で、国鉄の存続そのもの

が国会で取り上げられる中、1987年、6つの旅客会社と貨物会社への移行が決められ、JRが発足しました。

長期債務については、債務を国の一般会計に移すこと。国鉄の土地などを処分し返済に充てること。郵貯特別会計からの繰入れ、たばこ税の増税で賄い、60年かけて返済することが1998年に決められました。つまり、すべて国民（税金）に負担してもらうという手法がとられました。そして、国鉄を継承したJRが負担しないのはおかしいという事から、JR本州3社の5.9兆円の追加負担も決められました。つまり、赤字路線を地元を引き続けた政治家の責任を曖昧にし、国民に責任を押し付ける政策がとられました。



長期債務はどうなっている？

1998年に一般会計に移された24兆円余りの国鉄の長期債務ですが、たばこ税などによる返済で現在17.3兆円の残高となっています。H29年1年間では、4,383億円返済しています。また、20年間で発生した利子は3.5兆円で、税金で支払われた返済金は、20年間で10.2兆円となっています。このままでいっても、あと40年で0になることは困難で、さらなる負担がJRに求められることも考えられます。

○今後の日程

- | | |
|-----------|-----------------|
| 10月27日 | 国労東北女性社員交流会 |
| 11月9日 | 支部定期大会（利府コミ） |
| 11月23～24日 | フクシマ交流会（郡山） |
| 11月23日 | 国労東北協議会労働講座（盛岡） |
| 1月12日 | 東日本本部マラソン大会（皇居） |

マラソン大会は天皇即位に伴う祭典のため1月12日に延期です

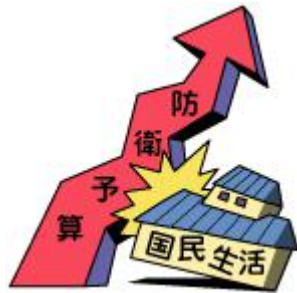


無責任体質と利益優先が生んだ借金大国

多額の借金は、一生懸命働いている私たちが作ったものではありません。国鉄で言えば、票を得るために線路を引きまくった政治家が多くいたことなど無責任な体質が生み出したものです。また、企業の利益を優先するあまり、労働者派遣法などを成立させ非正規社員を増大させた政策により、年金も税金も払えない労働者を多く作り出した政策によるものです。

国鉄の借金だけでなく、今後、アメリカからの戦闘機などの購入の借金が増大することは安倍政権の政策を見れば明らかです。

なぜ借金漬けにされたのか、少子高齢化になったのかを見ていくことが国民にとって大切なこととなっています。



たばこ税を見る (JT資料抜粋)

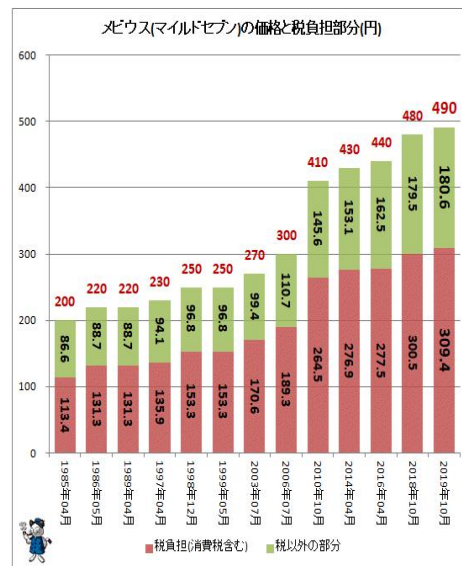
たばこの税負担内訳

たばこは、税負担が重い商品です。

たばこの価格には国たばこ税、地方たばこ税、たばこ特別税、消費税の4種類もの税金が含まれています。

銘柄などによって異なりますが、例えば一般的な紙巻たばこでは、税負担率は6割にも達するなど、たばこは、わが国でも最も税負担率の重い商品のひとつとなっています。

しかし、禁煙が進むなかで、消費税の増税などによる値上げが続いていますが、税収は減少してきています。



メビウス(マイルドセブン)の価格と税負担(円)

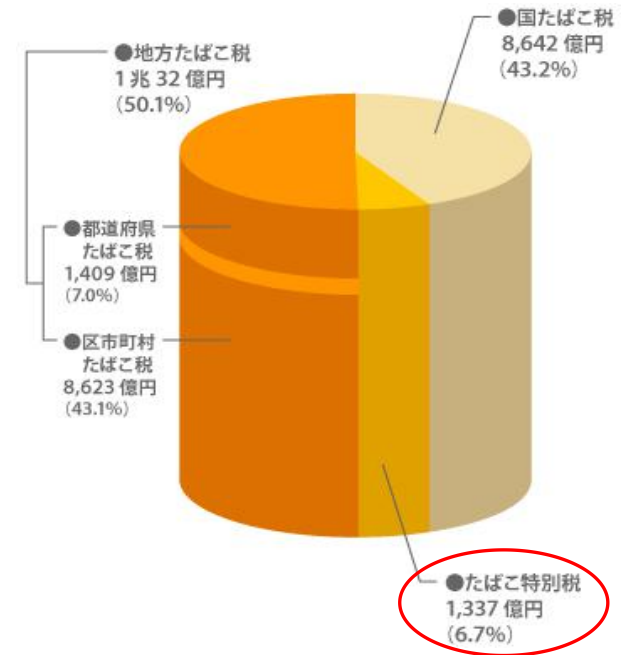
たばこ税は年間2兆円を上回る貴重な財源です。

たばこ税は地方財政にも年間1兆円を上回る一般財源として貢献しています。

2017年度(決算額)では、都道府県たばこ税1,409億円、区市町村たばこ税8,623億円と、地方たばこ税として年間1兆32億円もの貢献をしています。

国鉄の長期債務返済のために、1998年にはたばこ特別税が導入され、2017年度のたばこ特別税は1,337億円となっています。

たばこ税額の内訳 (2017年度)



一方で法人税は

法人税は、平成時代に入ってバブルの崩壊などがあり、企業の要請により引き下げられてきています。特に安倍政権になってからは、25.5%、そして23.4%へと引き下げられ、昭和時代と比べると約20%も引き下げられています。(下表参照：国税庁資料から)

法人税の引き下げの代わりに消費税が増税され続け、企業の利益は上がり続けています。しかし、企業は利益増加分を労働者の賃上げなどには反映させず、内部留保としてため込んでいます。

労働者の生活向上のためにも、利益を上げている企業の負担を増やさせ、年末一時金の大幅アップなども図らせなければなりません。

年	S57	S59	S62	H2	H10	H11	H24	H28
税率%	42.0	43.3	42.0	37.5	34.5	30.0	25.5	23.4